



あい 愛
あい 逢

第
18
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島 1-20-21

電話 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

発行責任者 坂本敬子

発行日 2007年11月10日

ミニディで美しい星空を楽しみました。 — 皆さん、大阪でプラネタリウムを体験 —

普段は屋内のミニディですが、屋外の活動もたまに楽しめます。小雨降る10月8日(祝)、久しぶりに遠出しました。車で、行き先は大阪のど真ん中の中之島にある大阪市立科学館。すごく立派な建物。ここに世界5位の大きさを誇るプラネタリウムがあるのです。直径が26.5mあり、天井いっぱい星空が見られる装置です。2004年7月にリニューアルオープンしています。



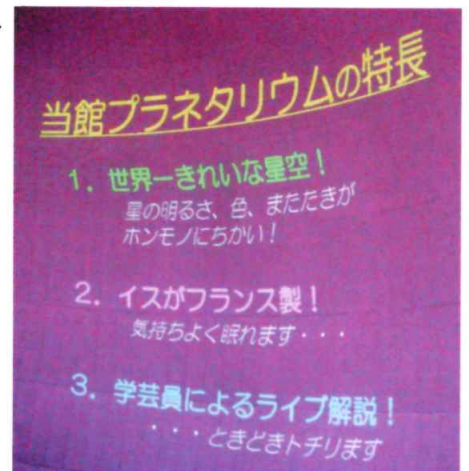
開演30分前に到着。休憩後、職員の方に案内され、大型エレベーターで2階に上がり280人収容可能な大きな会場に入りました。立派な椅子の席がある大きな会場。この立派な椅子はフランス製、自由にリクライニングする



気持ちのいい椅子。10時に場内が暗くなり映写スタート。迫力あ

る音楽の後、星はいくらくらい見えますか？今一番明るいのは西の空に見える木星ですよ。沢山ある星座の難しい名前など学芸員さんによる説明を受けて、1時間ほどで朝になり終了。

皆さんの感想です。「面白かった。寝た、ゴメン。」、「天体はスゴイ。」、「迫力だけ。見てない。」、「気持ちが良かったので、眠ってしまった。」、「楽しかった。」、「昔見た。良かった。」等等。皆さん、それぞれ楽しまれたのではないのでしょうか。



今回、科学館の職員の皆さんには大変お世話になりました。駐車場での誘導、エレベーターの操作、会場への案内、会場内の説明、写真撮影など。皆さん、事前に連絡を受けておら



れ、助けていただきました。この紙面であらためて、お礼を述べます。本当にありがとうございました。

「ターミナルケアと終末期の生き方を考える講座」

連続講座も3回を終え、あと1回と上映会だけとなりました。主催者の不安をよそに多数の方々の参集をいただき、参加者の熱い視線に時代のニーズを感じております。

第2回「電話相談から見えてきたもの」を聞きに来られた方達の感想です。

☆前回の話が大変良かった。自分のためにも、少しでも知って いれば良いのではと思って。
(女性70代)

☆前回は哲学的な話だった。人に対する気持ちが穏やかに接するように心がけなければと思った。
(女性50代)

☆母と姉を癌で亡くした。姉の壮絶な死に方に私は納得していないから、自分の終末の在り方を考えるために。
(女性50代)

☆祖母をホスピス病院でガンで亡くした事もあり、身内や自分のためにも終末についての勉強をしたいと。
(男性40代)

☆前回の話の中で「死に支度をしなさい。」と言われたので、あゝ自分の生きざまを知ってもらう死に方を考えなければと…とてもいい話だった。
(女性70代)



映画のご案内 “終わりよければすべてよし”

日時 12月6日(木) 上映1回目15時～、2回目19時～

会場 聖トマス大学・本館3F(車イスの方は1Fからエレベーターでどうぞ)

入場料 前売 500円、当日 800円

振込先 郵便振替 0910-5-278118 特定非営利活動法人愛逢

すべての人にとって絶対に避けられないのが死です。しかし、自分がどのような死を迎えるかは誰にもわかりません。現在、殆んどの人が病院で死を迎えています。自宅での安らかな死を望んでも往診してくれる医師も少なく、難しい状態です。この映画は日本での先進的な在宅医療、さらにオーストラリア、スウェーデンの状況も取材し、終末期医療が緊急課題であると問いかけています。(作品資料より)

地域で作る平和と共生フォーラム ご案内

第5回 「少年犯罪に向き合う」

11月22日(木) 午後6時30分～8時30分

語り手:井垣康弘さん(弁護士 元神戸家裁判事:神戸児童殺傷事件の少年審判担当)

第6回 「障害者が地域で生きること:みんなの労働文化センターの25年」

12月13日(木) 午後6時30分～8時30分

語り手:永岡美紀さん(NPOみんなの労働文化センター事務局長)

・会場はいずれも聖トマス大学サピエンチアタワー10F ・参加費 300円(資料代等)

・お問い合わせは愛逢事務所まで。電話06-6493-1424



行事案内 もちつき大会

日時 12月15日(土) 午前11時より

場所 ふれあいセンター

ヘルパー活動報告 ②「介護保険」

利用者さんの立場に立ち、助け合いの心を持った訪問介護員をご自宅に派遣し、身体介護や家事援助などの日常生活のお世話をしています。

早いものでNPO愛逢でヘルパー活動に加わり今年で1年半になります。健康生きがいがづくりとしての活動(イースター劇団)の公演、園芸療養ボランティアなど並行して活動させてもらっています。地域でのヘルパー活動の中でもすればこもりがちな利用者さんにも自分の活動を生かし伝え少しでも役立ちたいと思います。笑顔と明るさをモットーに傾聴を第一にその方に合う話題で一緒に笑いあえた時は幸せを感じ、少しでもお役に立てていると実感できる時です。

(ヘルパーの檜垣さんからの報告です。)

水辺まつり (9月16日)

9月9日(日)にあしぶねを作り、9月16日(日)に藻川の中園橋付近であしぶね、カヌー、いかだ、ポート乗りや魚捕りをして、大人も子供たちも一日中楽しみました。



尼崎市民まつり が10月6日、7日開催されました。今回市民活動の広場が市役所南館1Fロビーで開催され、NPO愛逢は「尼崎市内で活動するNPO 紹介展」に出展し活動のPRを行いました。



ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為、
仲間と支えあい(愛)、つなぎあ(逢)っていきます。

寄付金をいただきました

(敬称略)

富松 英二、水辺まつり実行委員会 より

当会の趣旨にご賛同頂き、ご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

(期間：8月28日～10月31日)

ホ ッ ト 待 夢



阪神医療生協の長洲支部と常光寺支部の合同運動会が10月28日、晴天に恵まれ開催されました。今年は杭瀬小学校(旧常光寺小学校)の校庭を特別にお借りしました。この常光寺小学校は今年三月に廃校になっていて、来年三月に更地となって市財政難の一助のため身売りされる運命なのです。子供さんが当校に通われたであろう組合員さんにとっては感慨深い一日だったことでしょう。

五十年間見守ってくれた桜の巨木の影で昼食をとり、玉入れや綱引きなどに興じた一日でした。
常光寺小学校！たくさんの思い出ありがとうございました。 <淑女>

おとなの川柳—1

新聞・雑誌の川柳欄に季節の言葉(季語)がある句や文章の一部を切りとっているだけの句などがみられる。実に哀しい。私は提言したい。

「ブラックやピンクなくして川柳はなし！」

どこかの元首相の「～なくして景気回復なし！」同様である。

そこで一句『チルドレン 親父に無視され ちりとてちん』…風雲永田町…

もう一句『浮気なら ましかもしれぬ 本気より』…そりゃそうだ…

もう一句『かなり美女 ブーツの生脚 かなりビショ』…乾かして下さい…

おまけに狂歌『亀ちゃんを 裏切り批判の TBS だから楽天 TOB』

……ボクシングも株も勝負事はこわいですね……

皆様も川柳をどんどん書いてくださいね

次回“おとなの川柳—2”はあるのだろうか？

<松ちゃん>



空き缶のふた(プルタブ)を集めて、車いすを
もらいましょう。事務所までお持ち下さい。



プルタブ

ホームページをリニューアル中

です。イベントの案内も行っていますので、
ご覧になってください。内容について
ご意見・ご希望をお寄せ下さい。

アドレス:

<http://www6.ocn.ne.jp/~ai2006>